

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/6)	1章 疾病と微生物 ① 微生物学の意義と歴史について説明できる。 ② 生物界における微生物の位置について説明できる。 ③ 感染の成り立ちと発病について説明できる。	[予習] 教科書 p1-12 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] 微生物、レーウェンフック、コッホ、パスツール、ジェンナー、エールリッヒ、北里柴三郎、フレミング、WDミラー、感染、内因感染、外因感染、不顕性感染、日和見感染	講義 倉橋
2 (9/6)	2章 微生物の病原性 ① 微生物の分類について説明できる。 ② 細菌の性状と病原性について説明できる。	[予習] 教科書 p13-28 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] 細菌の形態、構造、代謝、増殖、細菌の培養法、顕微鏡観察法、細菌毒素、菌体表層物質、組織破壊酵素	講義 倉橋
3 (9/13)	主な病原性細菌 ① 主な病原性細菌（グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性桿菌）の性状とその病原性について説明できる。 ② スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチアおよびクラミジアの病原性について説明できる。	[予習] 教科書 p28-48 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性桿菌、マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア	講義 倉橋
4 (9/13)	ウイルス ① ウイルスの性状と構造について説明できる。 ② 歯科に関連するウイルスとウイルス感染について説明できる。 その他の微生物（真菌と原虫） ① 真菌の性状と構造について説明できる。 ② カンジダ・アルビカンスについて説明できる。 ③ 原虫感染症について説明できる。	[予習] 教科書 p48-73 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] ウイルス、カプシド、エンベロープ、偏性細胞内寄生性、複製、種類、増殖、ウイルス感染、インフルエンザウイルス、レトロウイルス、肝炎ウイルス、真菌、カンジダ・アルビカンス、原虫	講義 倉橋
5 (9/20)	3章 宿主防御機構と免疫	[予習] 教科書 p74-81 を読んでお	講義

	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿主防御機構について説明できる。 ② 非特異的および特異防御機構について説明できる。 ③ 粘膜免疫の特徴について説明できる。 ④ 液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 	<p>くこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 自然免疫、インターフェロン、補体、食細胞、ナチュラルキラー細胞 (NK細胞)、Toll様レセプター、粘膜免疫、液性免疫、細胞性免疫</p>	浜田
6 (9/20)	<p>免疫機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 免疫関連臓器と免疫担当細胞について説明できる。 ② サイトカインについて説明できる。 ③ 免疫機構の発現と調節について説明できる。 ④ 免疫の種類について説明できる。 ⑤ ワクチンについて説明できる。 	<p>[予習] 教科書 p82-91 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 免疫関連臓器、免疫担当細胞、リンパ球、T細胞、B細胞、単球・マクロファージ、樹状細胞、抗原、抗原提示細胞、能動免疫、受動免疫、自己免疫疾患、免疫寛容、移植免疫、ワクチン</p>	<p>講義</p> <p>浜田</p>
7 (9/27)	<p>液性免疫</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 抗原と抗体について説明できる。 ② 抗原抗体反応について説明できる。 ③ 補体について説明できる。 ④ 細胞性免疫について説明できる。 	<p>[予習]教科書 p92-103 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 抗原、抗体、抗原抗体反応、凝集反応、沈降反応、補体結合反応、中和反応、標識抗体法、細胞性免疫</p>	<p>講義</p> <p>浜田</p>
8 (9/27)	<p>アレルギー (過敏症)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アレルギーの種類について説明できる。 	<p>[予習] 教科書 p103-109 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] I型アレルギー、II型アレルギー、III型アレルギー、IV型アレルギー、</p>	<p>講義</p> <p>浜田</p>
9 (10/4)	<p>4章 口腔微生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 口腔内微生物叢の成り立ちについて説明できる。 ② 口腔の部位別細菌叢について説明できる。 ③ プラークの形成機序について説明できる。 ④ バイオフィームについて説明できる。 	<p>[予習] 教科書 p110-122 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 口腔細菌叢、歯垢 (デンタルプラーク)、バイオフィーム、唾液細菌叢、舌背細菌叢、ブ</p>	<p>講義</p> <p>浜田</p>

		ラーク細菌叢、歯肉溝細菌叢、ペリクル、粘着性多糖（不溶性グルカン）	
10 (10/4)	5章 口腔感染症 ① う蝕の病態とミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性について説明できる。	[予習] 教科書 p123-129 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] う蝕、ミュータンスレンサ球菌、 <i>Streptococcus mutans</i> 、グルコシルトランスフェラーゼ (GTF)	講義 浜田
11 (10/11)	① 歯内感染症の成立機序と根管内細菌について説明できる。 ② 歯周病の病態、成立機序と歯周病原性細菌について説明できる。	[予習] 教科書 p129-137 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] 歯髄炎、感染根管、歯周病、歯肉炎、歯周病原菌、運動性菌、スピロヘータ、レッドコンプレックス、 <i>Porphyromonas gingivalis</i> 、 <i>Treponema denticola</i> 、 <i>Tannerella forsythia</i> 、 <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>	講義 浜田
12 (10/11)	① その他の口腔感染症と病原微生物について説明できる。	[予習] 教科書 p137-143 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] 顎骨骨髓炎、放線菌症、口腔カンジダ症、口唇ヘルペス、誤嚥性肺炎、菌血症、心内膜炎	講義 浜田
13 (10/18)	6章 化学療法 ① 化学療法の定義について説明できる。 ② 化学療法薬の種類と特徴について説明できる。 ③ 薬剤感受性試験について説明できる。 ④ 薬剤耐性について説明できる。	[予習] 教科書 p144-154 を読んでおくこと。 [復習] 問題の演習、授業内容を整理する。 [キーワード] 化学療法、化学療法薬、細胞壁合成阻害薬、タンパク質合成阻害薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗菌スペクトル、薬剤感受性、薬剤耐性	講義 浜田

14 (10/18)	<p>7章 院内感染症対策と滅菌・消毒</p> <p>① 歯科臨床における院内感染対策について説明できる。</p> <p>② 標準予防策について説明できる。</p> <p>③ 滅菌と消毒の定義について説明できる。</p> <p>④ 滅菌と消毒の特徴について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p155-166 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 標準予防策（スタンダードプレコーション）、滅菌、消毒</p>	<p>講義 浜田</p>
15 (10/25)	<p>8章 細菌培養・顕微鏡観察</p> <p>① 細菌の培養法について説明できる。</p> <p>② 細菌の培地について説明できる。</p> <p>③ グラム染色法の手順を説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p167-177 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 問題の演習、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 選択培地、光学顕微鏡、位相差顕微鏡、グラム染色法、MS培地</p>	<p>講義 浜田</p>